

一般質問

金井田
議員

○新松浦漁業協同組合から市への要望と対応について

質 今年度6月27日に新松浦漁業協同組合から市への要望がなされたわけですが、市が管理する漁港の中で、青島港、殿ノ浦港、船唐津港のしゅんせつの要望があつておりますが、しゅんせつ工事の要望について市の考え方をお尋ねします。

水産課長 青島漁港は平成27年11月に、殿ノ浦漁港と船唐津漁港は平成29年1月に泊地の水深調査を実施しています。その調査結果では、全調査測定に対して、計画水深を超える土砂の堆積が確認された測定の割合は全て2割に満たないもので、現時点では大規模なしゅんせつは必要ないと考えています。しかし、一部に計画推進を超える土砂の堆積が確認された場所がありますので、状況に応じ、土砂堆積場所を中心に簡易な水深調査を行い、しゅんせつの必要性を検討していきたいと考えています。

○松浦の極みの中の2品目（アジフライ・石工品）について

質 アジフライの聖地松浦が掲げる「アジフライ憲章」8つの条件のうち

ち2項目「私たちは松浦市で水揚げされたアジ又は、松浦市周辺海域で漁獲されたアジを使用します」と、「私たちは、ノンフローズン又は、ワンフローズンで提供します」とうたわれておりますが、この憲章に沿った提供がされているか、憲章が守られているかをこれからどのように確認していこうと考えているのか、担当課にお尋ねします。

地域経済活性化課長 アジフライ憲章を遵守して提供していただくことが松浦アジフライのブランドイメージの維持につながると考えていますので、PR協力事業者には改めてアジフライ憲章の意義とのぼり旗の適切な使用について理解を求めていくなどして対応していきたいと考えています。

質 長崎県特産品、伝統的工芸品である阿翁石を使って、松浦市ならではの商品開発、お土産品、ふるさと納税返礼品などの開発に、市内小学校の児童生徒に、ふるさと教育の一環として阿翁石をデザインしてもらい、商品開発に携わってもらえないか、担当課の答弁を求めます。

学校教育課長 教育振興基本計画に示している地域の伝統やまちづくりの題材であるので、この石工品を使ったものをふるさと教育として取り組むことは可能であると判断しているところですが。

一般質問

神田
議員

○通学路の交通安全対策について

質 鷹島小中学校へ通じる横断歩道への信号機設置のための交通量とは、どの程度を示されているのかお尋ねしたい。

建設課長 主道路の自動車等往復交通量が最大となる1時間の主道路の自動車等往復交通量が、原則として300台以上となっております。

質 鷹島小中学校へ通じる信号機のない横断歩道を見られて、この状況をどのように感じられているのかお尋ねしたい。

学校教育課長 この交差点が谷間に位置すること、鷹島支所側から交差点方面に向かって緩やかなカーブとなつていることなどから、見通しが悪い場所であると確認しています。教育委員会としては、この横断歩道は鷹島の児童生徒にとって最も利用頻度が高く、横断歩道を渡る際は確実な左右の安全確認を必要とする場所だと認識しています。

質 JA鷹島前の信号機を、新設された横断歩道へ移設していただきたと考えているが、どのような手段が考えられるのかお尋ねしたい。

学校教育課長 通学路安全プログラムの合同点検の実施が考えられます。

す。現時点では、市道鷹島中学校線の旧道との接続に合わせて合同点検を予定していますが、再度現状を確認の上、実施時期については検討していきます。

質 通学路の安全対策について、教育長の総括的な見解をお伺いしたい。

教育長 学校運営協議会や学校支援会議の場を中心に、地域の子どもを地域で見守り、育てる体制の構築を進めていきたいと考えています。

○市内における水道管老朽化の現状と対策について

質 市内水道管の総延長と、耐用年数を超えて更新時期を迎えているものが、どの程度あるのかお尋ねしたい。

上下水道課長 平成30年4月1日現在、全ての上水、簡水を合わせて、総延長は479・71kmです。法定耐用年数40年を超えている水道管は、合計で116・5kmで、これは全体の24・3%になります。

質 水道管の老朽化が進むと同時に、人口減少の影響で水道事業の経営が苦しくなることが予想されるが、今後の水道事業の経営戦略についてお尋ねしたい。

上下水道課長 今後の水道事業の経営については、必要な更新計画とそれに伴う料金体系を見直し、事業の効率性を高めて、持続可能で健全な事業経営を行っていきたいと考えています。